

天瑞山 大安寺 護寺会だより

編集・発行 大安寺護寺会広報部

恵庭市大町4丁目2番25号 大安寺内

TEL (0123) 34-1093

FAX (0123) 33-8005

ホームページ URL <http://dianji.net>



令和元年 10月 「お寺で音楽会」

今年の大法要



大安寺護寺会 会長

大安寺住職

押見 俊哉

西暦二〇二〇年（邦歴令和二年庚子・仏紀二五八六年）を迎えて、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、檀信徒の皆様のご厚情を賜りましたことを、篤く御礼申し上げます。

旧年中は、檀信徒の皆様のご厚情を賜りましたことを、篤く御礼申し上げます。

新年以来が明けるということは、とても気持ちの良いことです。

年頭に当たり、「今年こそやりとげよう」と決意を新たにするのもこの時ですが、よほど決意が堅固でなければ、なかなか続くものではありません。

禅の言葉に次の言葉があります。

「松無古今色（松に古今の色なし）」

「竹に上下の節あり」と続く対句の半句です。

松は四季の変化にかかわらず、常に緑色を保つ

ています。私たちの意思も、このように堅固であ

りたいとの願いを、松に託して述べたものです。

また、松の緑は「仏心・仏性」（私たちの心の中

に生まれながらにして具わっている清らかな

心）にもたとえられます。

風雨にさらされ倒れてしまつた草木に添え木をしてやるように、人が苦しみ悲しんでいる時に、

なんとかして助けてあげたいと思う心、これを「慈悲心」と言いますが、どなたでもこの慈悲心は本来誰にでも授けられている心です。

一年のスタートに当たり、松の緑にならつて、「色あせない心」を持ち続けていきたいもので

す。

さて、今年の九月五・六日の両日に亘り、大法要を予定しています。

私の住職の代において勤められる最も大切で大きな法要となります。

大安寺と縁のある六十名を超える御寺院さまお呼びして、先代住職十七回忌法要・万灯供養・法戰式（禪問答）等が勤められます。

インドには雨季と乾季があり、お釈迦さまは雨季の期間、外での修行ができないので屋内での集中修行期間（制中）を設けました。

宗門においては、この制中の修行を一代の住職の間に一回行うこととされています。

一度目は私の住職就任式（平成十八年）に修行しており、二回目は再会結制（さいえつけせい）といいます。

檀信徒の皆様には、後日改めてご案内を差し上げる予定ですので、一度とないこの勝縁に御参詣されるようお願いとお勧めをして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

令和二年 迎春

新年あけまして
おめでとう
ござります



作・羽田野 収

理	理	理	理	理	理	理	理	理	副	副	副	副
事	事	事	事	事	事	事	事	事	理	理	理	理
三	楨	野	楨	千	佐	佐	小	川	川	鏡	遠	藤
浦	原	本	葉	木	藤	木	楨	股	股	村	忠	昭
一												
元	弘	聰	勉	智	子	子	一	吉	一	尚	雄	貢

僧侶となるための儀式

曹洞宗の僧侶となるためには、次のような儀式（過程）を経なければなりません。

九月五・六日（土・日）に予定されている大法要では、現住職の長男（押見大俊・駒澤大学仏教学部三年生）の法戦式（立身）の儀式が修行されます。大安寺の次期後継予定者の大重要な一回限りの儀式となります。大学卒業後は、修行のため大本山永平寺に上山安居する予定です。

多くの檀信徒の皆様で、この儀式が立派に終了するよう参詣し、見守り頂きますようお勧め致します。

（一）得度

十歳以上になると行い、得度式のあと曹洞宗宗務庁に申請して曹洞宗の正式な僧籍に登録されて、僧侶の仲間入りをします。

（二）立身

曹洞宗僧侶の三大出世の一で、結制安居の首座しゅそ（第一座）となり、僧として身を立てる（立身）資格を得ます。

（三）伝法

立身して後、師匠から認められた弟子が、仏法の奥義を伝授してもらう儀式。

（四）転衣・瑞世

三大出世の一。伝法した僧は、両大本山に瑞世（一夜住職）して、これまでの黒色の袈裟を改め、色袈裟に転ずる（転衣）。転衣・瑞世を終えると和尚の法階となる。

（五）晋山結制

三大出世の一で、正式な住職となり大和尚の位を得ます。後継を育てる立場となり、緋衣を着ることが許可されます。



令和二年 元旦

地区幹事	地区幹事	地区幹事	地区幹事
地区幹事	地区幹事	地区幹事	地区幹事
地区幹事	地区幹事	地区幹事	地区幹事
地区幹事	地区幹事	地区幹事	地区幹事
地区幹事	地区幹事	地区幹事	地区幹事
地区幹事	地区幹事	地区幹事	地区幹事
地区幹事	地区幹事	地区幹事	地区幹事
地区幹事	地区幹事	地区幹事	地区幹事
地区幹事	地区幹事	地区幹事	地区幹事

横山 山元 茗三 寺槌 千田 須鈴 近及 上飯石
道本 澤木 茄 島崎 本田 中藤 木野 川坂 澤塚
幹興 弘幸博 正義敏皓 良善 春秀 隆
勇男 治仁信 三裕 傑行 男夫 一平 博雄 春幸

「お寺からのお知らせ」

おれ・お守り・回向之證の扱いについて

お寺で音楽会 ～二胡とうたどピアノ～

去る十月五日（土）午後二時より大安寺本堂にて『お寺で音楽会 二胡とうたどピアノ』～秋のしらべ～が開催されました。

奏者は遠藤夕希子氏（二胡）・中田

友紀氏（ソプラノ）・井内京子（ピア

ノ）の札幌大谷短期大学音楽部の同期生の三名で、百五十人を超える聴衆を秋の調べで魅了しました。

荒城の月・蘇州夜曲・リング追分・

涙そうそう・童謡唱歌が演奏されて、最後は全員で「ふるさと」を歌いました。

参加した皆さんにアンケートをお願いした結果、大変好評でしたので、今年度以降も継続していきたいと考えています。

お寺の法要の際に渡しました。た「回向之證」「お札」「お守り」についてのお問い合わせを多く頂いております。年が明けましたら、前年のお札等はお寺でお焚き上げ供養をしますので、お寺参りの際に受付にお届け頂くか、月参りの際にお預け下さい。

新春のお参りについて

新春の一月一日午前〇時より、本堂において『元朝大般若祈禱会』が修行されます。二月三日（月）午後六時より『節分追儺会法要』が行われます。申し込み用紙は年末に郵送させて頂きます。

令和二年 大安寺行事予定	
○一月一日（火）	午前0時
元朝大般若祈禱会	
○二月三日（月）	午後六時
厄払い追儺会	
○二月十四日（金）	午前十一時
糸尊涅槃会	
○三月二十日（金）	午前十一時
春季彼岸会・水子供養	
○五月八日（金）	午前十一時
○七月二十四日（金）	午前十一時
地蔵供養祭	
○八月十六日（日）	午後一時
孟蘭盆会	
○九月五日（土）	午後一時
六日（日）	午前九時半
両祖忌・先住十七回忌・法戰式	
○九月二十二日（火）	午前十一時
秋季彼岸会・水子供養	
○十二月八日（火）	午前十一時
糸尊成道会	